

令和 6 年度
決算審査特別委員会会議録（特急反訳）
討論・採決【速報版】

令和 7 年 9 月 1 6 日

◎ 討論、採決

○古谷公俊委員長 これより各会計決算について、順次討論、採決を行います。

まず初めに、議案第15号「令和6年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について」の討論を行います。討論はございませんか。

○大森和夫委員 反対の討論をさせていただきます。

もともと令和6年度の予算に関しては反対をしていました。反対の理由は、学校体育館の空調設備をこの年に完成してほしいということで、それができなかったということで反対しています。

これについては、議会で全会一致で、令和6年度中にエアコン設置、空調設備の設計をしてほしいという決議が上がっていますので、いろんな事情があったかもしれませんが、これを上げた議会の責任として、どうしてもこれができなかった予算については、決算についても賛成できないということです。

2つ目が、サンエスプールの廃止に伴って、尾崎スイミングスクールという、この当時は仮称というふうに言っていたと思うんですけども、中央公園用地のプールの建設に関わって、このプールでは、サンエスがかった当時のような、市民の利用ができないということを含めて、反対しています。

このときには予算審査特別委員会の中では修正案も出まして、尾崎スイミングスクールにずっと長期の貸出しは、問題ではないかという意見ありましたけれども、そういうことを含めて反対いたします。

それと3つ目が、給食センターの廃止を決めたということです。これも一般質問、この議会の一般質問ですけども、給食センターを廃止して、市外にそういう民間の工場で給食を作ることについては、教育的観点から見ても、やはりメリットがないというふうに思います。

そういう意味で、これを決めたときの予算ということで、反対ということを予算の時点で上げていますので、これについて今回の決算審査特別委

員会を通じてやはり反対で、引き続き反対してまいります。

あと、今回の決算審査特別委員会を通じて思ったところと言いますと、万博の補正予算が900万円ということでされていました。これは、いろんな補助金を活用していろんなことをやるということも大事かと思いますが、市の職員の負担とか、それから補助金頼みで、いろんな補助金を活用するのはもちろん大事なことだと思います。

しかし、万博のためにこうやっていろんな予算を使ってやると。補助金頼みでして、その1つのイベントは成功しても、補助金がなくなった後ずっと継続してできるのかとかね。それから、職員の負担等なんかを考えながらやる必要があるんじゃないかというふうに思います。

万博についても、こういう補助金よりも、安全対策とか、それから業者に対する未払いの部分とかありますので、そういうところにもっとお金を使ってほしいと。

機運上昇のためにいろんな予算が使われているんですけども、たくさんの方が来られて、反対にもう消化し切れないという言い方は問題かもしれませんが、そういう状況の中であれば、そういうもっと補正予算についても使い道があったんじゃないかと。これは泉南市のことじゃなくて、万博協会とか府に対して、そういう感想を持ちました。

それと、これはもう今回の決算審査特別委員会では取り上げませんでしたけれども、予算のときにはずっと言っていることで、やはり経常収支を減らしていく中で財政をよくしていくということが大事だと思いますので、無駄とか不要不急の予算をできるだけ削っていくということで言えば、南ルートの要望活動です。

いつできるか、そういう見通しもないし、泉南市からも、いつまでに造ってくれというようなことも言えないような事業については、毎年毎年行くというようなことは、ちょっと見直すべきではないかというふうに思います。

それと、双子川浄苑の環境整備基金、環境整備に関する補助金ですけども、これは市内の団体に出すのは、双子川浄苑が迷惑施設でいろんな被

害があるということで、市内の団体に出すのはもちろん問題はないというふうに思いますけれども、市外の団体に出す、泉南市以外の団体に出すというのは検討していく必要があるというふうに、毎回言うていますが、これについても変化がありませんでした。

こういう部分は、外部監査も含めてできるだけ経常的な予算は削っていくような努力というのが見られませんでした。

あと、内陸部の対策、特にＪＲより山側の対策を充実してほしいというふうに思います。

先ほども旧新家幼稚園の活用、公民館の建て替えの問題、市長がおっしゃるように、幾つかの問題を抱えていますけれども、新家地域は、ちょっと遅れてきているんじゃないかと。

商業施設なんかも、泉南市駅前にあったスーパーが撤退してから、それ以後、いろんな条件があって、なかなか誘致も難しいというお話は分かりますけれども、やはり遅れていつているんじゃないかという実感がありますので、これについても一言述べて、反対の討論いたします。

○田畑 仁委員 賛成の討論なんですけれども、私の頭の中がもうひっちゃかめっちゃかで、経常収支比率が上がってきている。将来負担比率が、十四、五年前に比べたら70ポイントぐらい下がってきている。公債費も下がっている。

けれども、中期の財政シミュレーションでは、これからまた上がってくる。財政調整基金がたまっている。ふるさと納税は、少し目標額に足らんけれども、大阪府下では上位のほう、けれども、泉南市は財政難、お金がない。

全く私自身も分かっていないんでしょうね、恐らく仕組みが。今議論を聞いていても、どこが本当でどこがうそなのかというのが、私自身、分からない。

予算、決算というのは非常に大切なことで、今回のこの決算を見て僕の正直な意見は、バランスがめちゃくちゃ悪い。このバランスがめちゃくちゃ悪いというのは、成長戦略室の成果が正直私には見えていません。

ただ、予算ベースで見ると、この決算で見て、

これでバランスがよく行政運営ができているかと言えば、私はこの決算で、肝心かなめの成長戦略プロモーションに関しては、私自身は、疑問符が付くことばかりやったことが、私の勉強不足なんでしょう、恐らく。

ですので、今思っているのは勉強不足であるということを私自身が勉強せなあかんし、この決算を見て、賛成を打つというのは私自身を戒める、ここで賛成をして、もう1回、本質の部分を泉南市民の皆さん、泉南市の将来のために勉強せなあかんというのをこの決算でつくづく思いました。

自分でも、勉強不足で参加した決算審査特別委員会だったなというので、自分をめちゃくちゃ責めているのが、現状かなと思っています。

この1年で、この決算書は、私はバランスが悪いと言ったんですけども、このバランスが悪い理由で、果たして退職者が増加しているのか、また全く関係のない理由なのか、また時代の流れかということも、自分自身は庁内を見ながら、これからあと3年ですか、議員をやろうと決心をしたのが、今回の決算審査特別委員会の私の討論です。

ですので、今回、私は賛成という立場で賛成はしますけれども、何度も言いますけれども、肝心かなめの成長戦略室の成果というところが見えていないというところの決算については、自分を戒めるためにも賛成をして、しっかりやろうという決意を持って賛成をさせていただきます。

以上です。

○古谷公俊委員長 ほかに。———ないですね。

以上で本件に対する討論を終結いたします。

お諮りいたします。

本件は、原案のとおり認定可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○古谷公俊委員長 起立多数でございます。よって議案第15号は、原案のとおり認定可決されました。

続いて、議案第16号「令和6年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計歳入歳出決算認定について」から、議案第32号「令和6年度泉南市下水道事業会計剰余金処分及び決算認定について」までの以上17件について一括して討論を行います。討論は

ありませんか。

○大森和夫委員 国保会計に反対討論をさせてもらいます。

先ほど質疑もさせてもらったので、詳細は繰り返しませんけれども、やはりこの高過ぎる国保料、泉南市の責任ということだけではもちろんないですし、府の責任とか、それから、府下統一の値段を押しつけてきていると。それと、全国知事会が要望しているように、国自身がもっと国保会計にお金を入れると。

国が一時的なもので、国の財政が大変やからというて、国保会計への補助というか、お金を回す金額を減らしてきたんですけれども、それが結局回復されないまま、元に戻されへんまま、ずっと国の負担が減らされたまま、それを地方自治体が苦勞しているという状況なんです。

ですから、泉南市の責任ということだけではありませんけれども、やはりこの高過ぎる国保料金については賛成できないということで、反対いたします。

○古谷公俊委員長 ほかに。———以上で本件に対する討論を終結いたします。

これよりただいま討論のありました各会計決算のうち反対討論のありました議案から順次採決いたします。

まず初めに、議案第27号「令和6年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり認定可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○古谷公俊委員長 起立多数であります。よって議案第27号は、原案のとおり認定可決することに決定いたしました。

次に、ただいま採決いたしました、1件の会計を除く、議案第16号、議案第17号、議案第18号、議案第19号、議案第20号、議案第21号、議案第22号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第28号、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号の以上16件の会計決算について、これより一括して採決をいたします。

お諮りいたします。本16件については、いずれ

も原案のとおり可決及び認定可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○古谷公俊委員長 御異議なしと認めます。よって本16件については、いずれも原案のとおり可決及び認定可決されました。

以上で本特別委員会に付託を受けました令和6年度泉南市各会計決算18件についての審査を終結いたします。連日にわたり慎重なる御審査をいただきまして、誠にありがとうございました。

なお、本会議における委員長の報告につきましては、私に一任していただきますようよろしくお願いいたします。

これもちまして、令和6年度決算審査特別委員会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。

午前11時10分 閉会

(丁)

委員長署名

令和6年度決算審査特別委員会委員長

古 谷 公 俊